

岡山市食育推進計画（第4次）案について

1 計画（素案）へのパブリックコメント結果について

(1) 募集期間 令和5年12月1日（金）～令和6年1月5日（金）まで

(2) 提出意見 意見数3件（3人）

意見区分	意見要旨	計画（案）での対応状況等	計画頁
1 第3次 計画期 間にお ける取 組状況 と課題	<p>安全面、食料自給率の観点から子供たちの学校給食さえ地場産物で賄えないのは危機的であり、積極的な施策が必要ではないか。</p> <p>オーガニック給食を実現している他自治体も参考に、具体的な取組を推進してもらいたい。</p>	<p>本計画において、地産地消の実践は、食育の推進に関する施策についての基本的な方針のうち、取組の方向性の一つに位置付けています。</p> <p>学校給食においても、できるだけ地場産物を献立計画に取り入れるよう心がけており、本計画を進める中でも、引き続き、より多くの地場産物が安定的に調達できるよう努めてまいります。</p> <p>なお、有機農産物については、生産量が安定しないことから、積極的に学校給食に取り入れるには課題があると考えております。</p>	19、20
2 第4次 計画の 基本的 な考え 方	<p>食育は重要であり、地産地消を拡大してもらいたい。</p>	<p>本計画において地産地消の実践は、取組の方向性の一つに位置付けており、引き続き取り組んでまいります。</p>	19、20
3 食育推 進の目 標に関 する事 項	<p>学校給食に県内地場産物及び国産食材を使用する割合について、それぞれ具体的な数値目標を示すことが重要ではないか。</p>	<p>学校給食においては、県内地場産物や国産食材を安定的に確保することが難しい状況にありますが、地場産物の使用率は全国平均を上回る59.9%、国産食材の使用率は全国平均に及ばないものの85.0%を達成しており、今後とも現状値を維持・増加できるように、取り組んでまいります。</p>	26

2 第3回保健福祉政策審議会での審議を踏まえた対応状況等について

意見区分		意見要旨	計画（案）での対応状況等	計画頁
1	食育の推進に関する	高校生や大学生等の世代に食育に関するアプローチを行うことも必要・有効ではないか。	第4章 食育推進の目標に関する事項の中で、朝食を食べ、バランスのいい食事をとる若い世代を増やすことを目標としています。 アプローチの方法、民間企業との連携について、ご意見を参考に取り組んでまいります。	24
2	施策についての基本的な方針	働き世代の食生活を改善するためには、企業や外食産業とのコラボを検討してはどうか		

なお、計画（案）は、令和5年11月公表の（素案）から軽微な文言修正を反映した内容となっています。